

SKA Japan Workshop 2015



高橋慶太郎

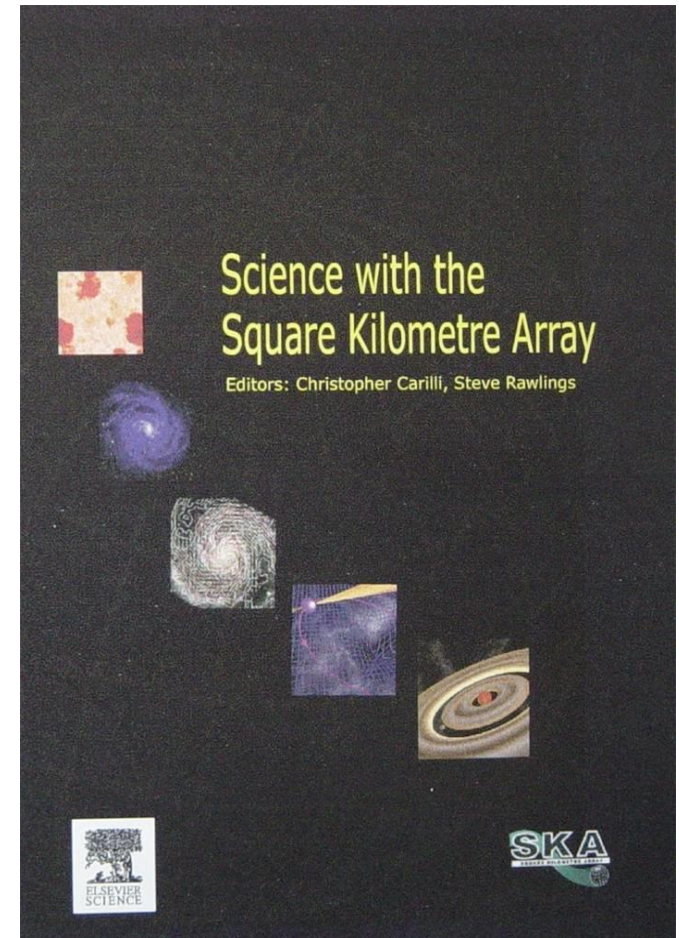
熊本大学

2015.3.3

背景説明

Science with the Square Kilometre Array
(2004, eds. Carilli & Rawlings, New Astron. Rev., 48)

- 国際サイエンスブック
 - ・ 10年ぶりに改訂
 - ・ スケジュール
 - 2014.2 chapter公募
 - 2014.6 国際会議
 - 2014.12 原稿締切
 - 2015.5 出版
 - ・ ~120 chapters!
 - ・ 原稿の多くはarXivにあがっている
 - ・ 日本でもこれに対応したものを作る
 - ・ 国際会議のプレゼン資料



<http://astronomers.skatelescope.org/documents/aaska14-presentations/>

背景説明

● 宇宙電波懇談会

- ・ 2013.12
- ・ SKA計画の概要、サイエンスについて2日間にわたって講演・議論
- ・ 「SKAそのものはわかった。ではSKA-Japanは何をやりたいのか？」
→ これに答える

● 電波専門委員会

- ・ 国立天文台の電波研究に関する審議機関
- ・ 2014、2015年度：井口委員長（高橋は委員の一人）
- ・ 台長タスク「この2年間で天文台の方向性を決めよ」
→ 議論のための基礎資料となる

背景説明

● 宇宙電波懇談会

- ・ 2013.12
- ・ SKA計画の概要、サイエンスについて2日間にわたって講演・議論
- ・ 「SKAそのものはわかった。ではSKA-Japanは

2014年度SKA-JP SWGの活動の柱
→ 組織拡大、研究体制構築

● 電波専門委員会

- ・ 国立天文台の電波研究に関する審議機関
- ・ 2014、2015年度：井口委員長（高橋は委員の一人）
- ・ 台長タスク「この2年間で天文台の方向性を決めよ」
→ 議論のための基礎資料となる

Science Working Group

代表：高橋（熊本大）

副代表：竹内（名古屋大）

high z：平下（ASIAA）

- ・再電離：市來（名古屋大）

- ・宇宙論：山内（東京大）

- ・銀河進化：竹内（名古屋大）

宇宙磁場：赤堀（鹿児島大）

パルサー：高橋（熊本大）

星間物質：半田（鹿児島大）

位置天文：今井（鹿児島大）

突発天体：青木（早稲田大）

Science Working Group

代表：高橋（熊本大）

副代表：竹内（名古屋大）

high z：平下（ASIAA）

・再電離：市來（名古屋大）

・宇宙論：山内（東京大）

・銀河進化：竹内（名古屋大）

宇宙磁場：赤堀（鹿児島大）

パルサー：高橋（熊本大）

星間物質：半田（鹿児島大）

位置天文：今井（鹿児島大）

突発天体：青木（早稲田大）

} → 拡大改組

→ 再起動

→ 新規

→ 新規

Science Working Group

代表：高橋（熊本大）

副代表：竹内（名古屋大）

high z：平下（ASIAA）

・再電離：市來（名古屋大）

・宇宙論：山内（東京大）

・銀河進化：竹内（名古屋大）

宇宙磁場：赤堀（鹿児島大）

パルサー：高橋（熊本大）

星間物質：半田（鹿児島大）

位置天文：今井（鹿児島大）

突発天体：青木（早稲田大）

} → 拡大改組

→ 再起動

→ 新規

→ 新規

アクティブメンバー増加：著者58人！

日本版サイエンスブック

8つのトピック

再電離 (市來)

宇宙論 (山内)

銀河進化 (竹内)

パルサー (高橋)

宇宙磁場 (赤堀)

近傍宇宙時空計測 (今井)

星間物質 (半田)

突発天体 (青木)

3部構成

- ・分野の現状、未解決問題
- ・国際SKAのサイエンス
- ・日本のサイエンス

基調講演はこれに沿って行われる

日本版
Square Kilometre Array
サイエンスブック



日本SKAコンソーシアム
科学検討班
2015

320ページ!

日本版サイエンスブック

8つのトピック

再電離 (市來)

宇宙論 (山内)

銀河進化 (竹内)

執筆ご協力どうもありがとうございました！

&

来年度英語化予定なのでまたお願いいたします！

突発天体 (青木)

3部構成

- ・分野の現状、未解決問題
- ・国際SKAのサイエンス
- ・日本のサイエンス

基調講演はこれに沿って行われる

日本版
Square Kilometre Array
サイエンスブック



日本SKAコンソーシアム
科学検討班
2015

320ページ！

日本版サイエンスブックは
各研究室で来られていない方の分も
お持ち帰りください。